

論文式試験問題集
〔一般教養科目〕

〔一般教養科目〕

次の文章は、ハーバート・スペンサー著『政府の適正領域』のうち、「第一の手紙」からの抜粋である。これを読んで、後記の設問に答えなさい。

(省 略)

〔設問 1〕

本文における著者の主張を、10行程度でまとめなさい。

〔設問 2〕

本文を著者が記したのは1840年代前半である。当時、イギリスにおいては義務教育も国営鉄道も存在せず、教育や鉄道事業は政府以外の機関・団体によって行われていた。

本文における著者の主張は、今日の社会においてどのように評価し得るか、25行程度で論じなさい。

なお、論述に当たっては、以下のテーマのうち一つを取り上げ、それに対する政府の関与の在り方について、自らの見解を提示すること。

- ① 商業の規制
- ② 教育
- ③ 道路・鉄道の建設

【出典】ハーバート・スペンサー

森村進編訳『ハーバート・スペンサー コレクション』